

平成20年度 歯つらつファミリーコンクール入賞者

宮城県歯科医師会では、日ごろから家庭で、歯の健康管理と心身の健康づくりに取り組んでいる親子を表彰する「歯つらつファミリーコンクール」を実施しています。当町から、母と子の部で3組の方が入賞されたのでご紹介します。

- ①入賞の感想
- ②むし歯予防の取り組み
- ③歯みがき以外で気を付けていること



阿部美穂子さん・穂佳ちゃん(8歳下)

- ①まさか入賞すると思っていませんでしたので、入賞の連絡が来た時は、「えっ？ほんとに？」って感じで家族みんなで喜びました。
- ②寝る前の歯みがきをしない事がよくあったので、お風呂で湯ぶねにつかりながらする事にしていました。お風呂あがりは、「のどがかわいたら水」というように決めています。
- ③のどがかわいたときは牛乳などを飲んで、ジュースをあまり飲まないようにしています。食べ物は、あれもダメ、これもダメとか言わずに、好きな物を食べる事が多いです。



小島睦美さん・亜裕美ちゃん(8歳田尻畑)

- ①入賞をととてもうれしく思います。娘も大喜びして、1日中いただいたメダルを胸にかけていました。娘のむし歯予防を心がける事により、自然に自分のむし歯予防につながっていたのだなあと思いました。
- ②娘の仕上げ磨きは、電動歯ブラシを使用しています。私も娘同様、最後に電動歯ブラシを使用し、時どき歯間ブラシやデンタルリンスを使用しています。
- ③間食はなるべく時間を決め、飲み物はお茶か水を心がけています。食後のデザートという形で甘いものを摂るようにし、ジュースやお菓子類はできる範囲で特別な時(お友達と一緒にの時、お祝い事、行事など)と決めています。



菅原ゆみさん・正斐くん(8歳上の山)

- ①入賞できて大変うれしいです。がんばって歯磨きをしてきた甲斐がありました。賞状とメダルをいただき、息子もとても喜びました。
- ②歯みがきだけはきびしくし、毎日朝晩の2回、ひとりで磨いた後に仕上げみがきをしてきました。私自身の予防も歯みがきだけです。
- ③おやつ時間を決めて食べている事と、好物が「柿ピー」で、甘いスナック菓子などをあまり食べない事が良かったと思います。

庄内の風 ③0

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

立谷沢川流域雪まつり



2月7日(土)、庄内町立谷沢地区にある「月の沢温泉北月山荘」を会場に「立谷沢川流域雪まつり」が開催されました。この日にあわせ、北月山荘前には地元建設業者の協力で、高さ3メートルを超える「巨大かまくら」と

「巨大雪だるま」を作っていただきました。当日は、晴天にも恵まれ、狩川公民館ワンパク学園の子どもたちや親子連れなど、来場したお客さんは、楽しそうに雪遊びをしていました。夕方から、かまくらや周辺に作ったたくさんミニかまくらの中のローソクに一斉に灯りをともすと、温かさに包まれた幻想的な雪景色に変わりました。その後、北月山荘食堂で行われた懇親会には、40名も



の方が参加しました。自慢の家庭料理を一品ずつ持ち寄っての「一軒逸品」では、これぞ立谷沢地区と思わせる「ふき」「どんごい※」「なめこ」等といった山菜料理の数々、また、鯉を使った鍋や洗い、手打ち蕎麦といった絶品料理が並びました。参加者は、美味しい料理を食べながら様々な話で盛り上がり、交流を深めました。

※どんごい…タデ科の多年草で正式名は「いたどり」



夢大使 リレー通信 ③2



夢大使 佐々木眞奈美さん (仙台市)

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、テレビやラジオでおなじみの、タレント・声優として活躍している佐々木眞奈美さんです。

東北放送ラジオの番組で、方言のコーナーを始めて数年になります。生まれ育った所の方言でも知らなかったものや、同じ宮城県でも使われる方とちよつとしたニュアンスが違っていたり様々で、毎回いろいろな発見があり、楽しみながら放送しております。先日は、子どもの遊びの「うらおもて」

鬼ごっこなどの遊びで、二つにグループを分けるときに使われる「あれ」です。※ご存じない方、昔のことすぎて忘れた方のために、「うらら〜お〜も〜」でリズムを取り、最後の「て〜」で、それぞれの手を甲と手のひらを好きな方に向けて出します。これで、そのときの人数のだいたい半分ずつに、手の甲・手のひらを出した人が分かれればオーケー！。簡単なチーム分けの方法です。

「うらおもて」なのだ

地域は、ほかにいくつかが限定されているのだと思う。また、電話などで「今、どこにいる？」の返事に対しての答え「うらにいたよ。」も、宮城県独特のようです。「いたよ」と言うのは、正確には過去を言っているのだから「どこにいる？」の質問の答えとして「今は」は「うらにいたよ。」(それやそれだ(笑))でも、こちらでは「今、どこにいるの？」の問いには、「うらにいたよ。」で「きのう(昨日)どこか、いたの？」と過去のことを聞かれれば、「うらにいたよ。」と、「うらにいたよ。」と、ちゃんと過去形で答えるので何ら問題ありません。(たとえ文法的に間違いであってもね)山形の人はなんか、電話の冒頭で「もしもし、佐々木です。」と言うところを、「もしもし、佐々木でした。」って、最初から過去形になっちゃって「うらにいたよ。」(そんないやない山形の方々、ごめんさい)、所変われば…というところでしょうか。そういつた違いを楽しむココロの余裕が大切だと思ったり、文法云々も大切でしょうけど、違いを認め合って許し合うキモチが、人同士の潤滑油になるような気がします。何はともあれ、方言ってホントにいいもんです(笑)